

# 12 これからのさつま町に必要な視点

これまでのさつま町の現状や課題を踏まえて、これからのさつま町において必要な3つの視点を定めました。第3次さつま町総合振興計画は、行政やまち全体がこの3つの視点に立ち、活力あるまちの実現に向けて取り組みを展開していきます。



## さつま町の未来のために必要なさまざまなこと

長い歴史・豊かな自然を受け継ぐ

まちづくりの輪を広げる

人を呼び込む

まちへの愛着を育てる

魅力的なまちをつくる

新たなまちづくりに挑戦する

住みよい生活環境を守る

戻って来たいと思えるまちをつくる

安定した行財政運営を実現する

協力し合う関係をつくる

未来を担う世代を育てる

まちの未来をみんなで考える

## 3つの視点に整理



つなぎ・広げる

守る・深める

育てる・みがく

さつま町が直面する課題に対応し、乗り越え、よりよい方向に改善していくことができるよう、人と人、地域と地域がつながりを持ち、その輪を広げ、まちのみんなが協力できる関係をつくる視点。

10年後もこれまでと同じように、誰もがのびのびと、住み慣れた地域で安心して暮らすことができるよう、今まちにあるものを生かし、まちや暮らしを守り、未来に向けて受け継いでいく視点。

将来にわたって活力のあるまちであるために、これまでの取り組みを続けるだけでなく、新たな魅力となりうる資源を見つけ、磨いていくとともに、まち全体で育てていく視点。

## 第2章

# 基本構想

さつま町が目指す10年後のまちの姿など  
これからのまちづくりの大きな方向性をまとめています

# 01 人口の見通し

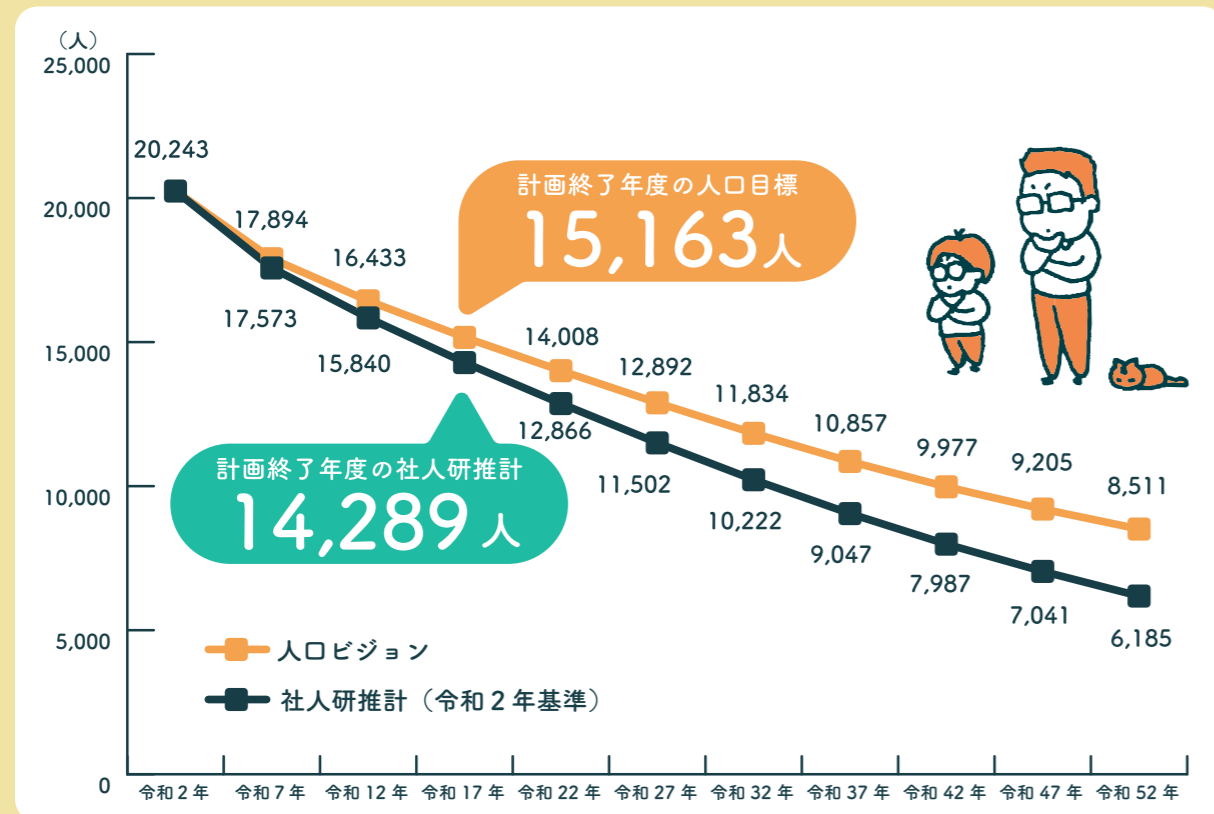
令和17年に**15,000**人以上を維持



令和2年の国勢調査を基準とする国立社会保障・人口問題研究所の人口推計（社人研推計）では、令和32年には10,222人となり、令和7年4月1日現在の人口である18,015人と比較すると7,793人の減少、6割程度の人口になると見込まれています。

この推計を基準として、総合振興計画の取り組みを進めることによって考えられる効果を仮定し、さつま町の人口推計を算出しました。推計の結果、計画終了年度である令和17年の人口は15,163人となったことから、総合振興計画における人口の目標を、計画終了年度までに総人口15,000人以上を維持することとします。

15,000人以上の人口維持を目指して、総合振興計画に基づいた取り組みを進め、出生率の向上や転入の増加、転出の抑制を実現し、人口の減少幅を緩和させていくことが重要となります。



# 02 まちの将来像



合併から20年が経過したさつま町は、人口減少や少子高齢化が進むなかでも、ひと・まち・自然をはじめとしたまちのさまざまな資源を大切にしながら、まちを守り・高める取り組みを続けてきました。

さつま町を取り巻く環境はさらに厳しくなっていくなかで、これからはまちで暮らす人・働く人・訪れる人といったさつま町とかわるすべての人が、さつま町の現状を知り、目指すべき姿に向かって協力してまちづくりを進めていく必要があります。

まちへの愛着を多くの人を感じているなか、いつまでもさつま町が愛され、誰もが住み続けたい・住んでみたいと思えるまちへと成長していくために、みんなの思いを一つにするまちの将来像を「あなたの夢に真っすぐ 新たな挑戦が未来をつくる」とします。

誰もが夢や活力を持ち、新たなことに挑戦していく姿を応援できるまちでありたいという希望と、一人ひとりの明るい未来が、さつま町の持続可能なまちづくりに不可欠であるという、さつま町とかわる一人ひとりを大切にする思いをこの将来像に込め、さつま町全体でまちづくりを進めていきます。

# 03 まちの姿（基本方針）

総合振興計画はまちづくりのすべての分野の取り組み方針を定めています。分野はさまざまであることから、取り組みの方向性に関連のある分野をまとめ、それぞれに10年後のさつま町の「まちの姿（基本方針）」を定めることで、より具体的なビジョンを持って取り組みを推進できるようにします。

まちの姿1

## こころ “のびのび”



- 未来を担う子どもとその保護者が、地域のなかで健やかに育つ環境が整っています。
- 子どもから高齢者まで、誰もが地域のなかで学び、何歳になってものびのびと心豊かに育っています。

子育て    学校教育・社会教育    文化・スポーツ

まちの姿2

## ひと “いきいき”



- 地域での身近なつながりのなかで、お互い支え合うとともに、誰ひとり取り残さず安心して暮らしています。
- 一人ひとりが自らの健康を気づかいながら、いきいきと暮らしています。

地域コミュニティ    高齢者福祉    障がい者福祉    健康・医療

まちの姿3

## 暮らし “おだやか”



- 災害に強く、安全・安心な生活基盤が整い、住みよいまちになっています。
- 犯罪や交通事故のないまちで、誰もがおだやかに暮らしています。

生活基盤    消防・防災    防犯・交通安全

まちの姿4

## まち “きらきら”



- 女性や若い世代が活躍できる環境が整い、誰もがいきいきと働いています。
- さまざまな産業が活性化し、にぎわいと活気に満ちた輝くまちになっています。

農林水産業    商工業    観光

まちの姿5

## みらい “つながる”



- 美しい景観や環境が守られています。
- まちで暮らすさまざまな人がお互いを理解し、優しさをつながりのあふれるまちになっています。
- 町民に寄り添い、安定した行財政運営が行われています。

環境・景観保全    人権尊重・多様性    行財政運営

## 第3章

# 基本計画

基本構想で示した将来像や方向性に基づき各分野で取り組む方向性や行政の重点的な取り組みをまとめています